

「すいた市民自治」会派は「市民が主役の社会」の実現をめざし、活動してまいります。

すいた市民自治のいけぶち佐知子です。決算審査が終わってからの作成になりましたので、通信の発行が遅くなりました。9月定例会と決算審査の質問や質疑、また研修報告など掲載しています。議事録は吹田市議会のホームページや市立図書館でご覧ください。

＜9月定例会いけぶち佐知子質問項目＞

- 1 組織改正の基本方針(素案)と組織改正(案)
- 2 第4次総合計画の策定を前倒しで取り組む
- 3 まち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョン
- 4 パブリックコメントは市民からの意見を聴取するために行っているか
- 5 行政組織の縦割りと施設の縦割り
- 6 施政方針に関連して、市長に問う
- 7 フューチャー・デザイン。未来アセス会議について市長が考えていることを問う

9月定例会 いけぶち質問から

＜人口減少は悪いことなのだろうか＞

将来の吹田市を考える上で、人口ビジョン(人口の将来推計)はとても重要です。議会としても十分な議論が必要だと考えています。

国全体で人口が減少していく中で、吹田市だけ人口増加あるいは維持するという事は、難しいのではないのでしょうか。

質問 人口減少に対する市長の考えを問う。

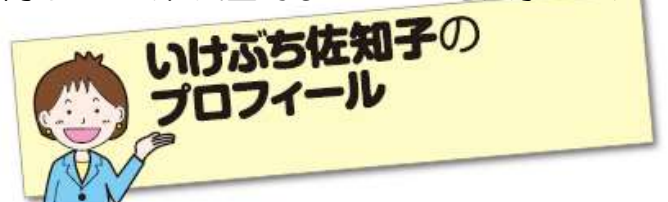
回答 本市の将来人口は長期的に減少すると予想している。36平方キロメートルの狭い市域において、良好な住環境のもとで快適に利便性高く暮らす上で、適正な人口規模を考えなければならない。人口規模によって、長期的な政策も人口減少の評価も大きく変わってくる。今後、総合計画策定の過程で、適正人口について議論を始めたい。

＜市長の傾聴と対話の対象に議会はあるのか＞

市長は施政方針の中で、「議会の皆様と力を合わせて」など、「議会」を13回使っています。

質問 市長と議会は、二代表制である。双方がなれ合いになっても、議会提案前の事前審査になってもいけないが、政策や計画を議会に提案するまでに、もっと議会に対して情報提供や説明があってもいいのではないかと。市長の考えを問う。

回答 議決権は議会に与えられたものであり、議員個人に与えられたものではないが、議員が判断するために必要な情報を提供し、行政の考えを具体的に伝えなければならない。行政内部でメリット、デメリットを集中的に議論し、議会に複数案を提示し、議会で質疑、応答、議論をして熟度を高めていく、民主的なプロセスを大事にしたい。



- 1957年/和歌山県生まれ。
 - 1979年/大阪大学薬学部卒業。薬剤師免許取得。
 - 1994年/吹田市立女性センターに就職。地域の開発問題をきっかけに政治に関心を持つ。
 - 1999年/市民のための市政を求めて立候補し、当選。
- ◎2015年/5回目の当選。現在、吹田市議5期
子育て・教育、福祉、環境、まちづくりの市民活動にかかわる。
百条委員会委員(2012～13年度)。吹田市監査委員(2013年度)。
議会事務局研究会会員。「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ。

<第3次総合計画中間見直しの反省を生かせ>

以前、第3次総合計画の中間見直しと言いながら、総合計画全体を再構築する抜本的な見直しや地域別計画をなくす、など、大幅な変更が提案されました。議会が修正を求めたが、すでに総合計画審議会は解散しているため、議会からの意見を審議会に戻せないとのことで、委員会で何度も継続審査となり、結局、議会としては否決しました。

質問 この第3次総合計画中間見直しの際の反省を踏まえ、第4次総合計画策定はどのようにするつもりなのか？

回答 議会の意見をしっかり反映できるような形で進めることは、非常に重要であると考えている。市民の代表者である議会の意見をしっかり聞きながら進めていきたい。

質問 市長は総合計画に長期の財政計画を組み込むと言われた。総合計画の期間との関係を問う。

回答 総合計画は、市の将来を見据え、総合的かつ計画的な街づくりを進めるための基本である。現時点では、総合計画実現のために策定する実施計画に合わせて、総合計画と同じ期間で財政計画を示したいと考えている。

質問 立地適正化計画は総合計画や都市計画マスタープランに関係し、また、公的不動産の活用、公共施設の最適化にもかかわる重要な計画だと考えるが、いかがか。

回答 立地適正化計画は、都市機能を計画的に立地誘導し、持続可能な都市を目指すものである。関係部局の各種計画等と調整、連携を図り、作成を検討したい。公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について、(仮称)公共施設等総合管理計画を策定し、今後の方針を固めていきたい。

いけばちコメント 行政は計画を立てるのが得意ですが、立てるだけではダメです。相互に関連している計画については齟齬(そご)がないよう、連携して動くように考えていただきたいと思います。

<フューチャー・デザイン、未来アセス会議>

質問 市長が報告者、パネリストとして発言した大阪大学のシンポジウムに参加した。「フューチャー・デザイン」や「未来アセス会議」という初耳の言葉がでてきたが、市長は、どのような意味で、何をしようと考えているのか。

回答 (市長) 「フューチャー・デザイン」は、将来に大きな影響を及ぼすであろう意思決定をするときに、将来世代の視点を取り入れるための考え方である。この考え方をシステムとして市政に導入することは、私の公約である。

「未来アセス会議」は「フューチャー・デザイン」を市政に実装するとすれば、ということだけで既に名称を付けたものである。時には、現在の市民にとって必ずしもプラスにならないかもしれないが、20年、30年後を考えると、今この投資が必要である、というような視点を、必ず政策策定の場に入れていきたいと考えている。

いけばちコメント 大学など研究機関は理論を立て、その理論の実践の場を求めています。一方、行政は実践するための裏付けとなる理論を求めています。双方互いに協力し合えばWIN・WINの関係になります。

このような関係を深め、広げることがぜひ進めていただきたいと思います。これこそ、市内に多数の大学や研究機関を持つ吹田市のメリットであり、ブランド力であると思います。



そのためにも、議会に対して必要な手続きや心配りは、怠りなくしていただきたいと思います。

回答 (市長) 市政に未来、将来世代のことを要素に入れて政策を作るときには、議会とともに構築しなければならない。

そういう意味で、早い段階、初期の構想の段階で、議会に対して情報提供もさせていただき、未来に対する議論を可能な限り、議会とともに進めていきたいと考えている。



視察、研修の報告

いけぶちが、政務活動費を用いて視察や研修に行った内容について、以下、ご報告いたします。

<平成 27 年度 地域公共交通セミナー>

○日時 7月14日(木) 10時~17時

○主催

NPO 法人持続可能なまちと交通を目指す再生塾

○感想・考察

海外、とくに欧州では、公共交通として民間の交通事業者であっても、日本よりずっと多くの公的補助金が出ています。ビルの中で上下移動するためにエレベーターがあるのと同様、まちの中を移動するための公共交通に公費を出すのは当然という考えからだとのことでした。

講師が述べた「公共交通の「赤字」は地域への「投資」というフレーズは、目からうろこでした。費用対効果という、目先のことだけ、直接の効果だけ見がちですが、「公共交通システムで、いかなる価値を提供できるのか」ということをクロスセクター・ベネフィットで考えることが必要だと理解しました。

また、「環境の時代・高齢化の時代は公共交通に追い風」ということに加えて、元気な高齢者だけでなく、収入の少ない若者にとっての公共交通も考える必要があると思いました。

<平成 27 年度市町村議会議員特別セミナー>

～災害に強い地域づくり～

○日時 10月26日(月) 13時30分~16時45分、27日(火) 9時~12時

○主催

市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)

○感想・考察

講演者の一人である鍵屋氏は、元板橋区職員として、議会事務局、防災担当をしていたそうです。東日本大震災にも応援に行き、その経験をもとに話をされたので、とても具体的でわかりやすかったです。

また、山梨学院大学教授の江藤氏の講演では、人格を持った議会として、計画を立て、実際に動くよう訓練することの重要性を学びました。

先進事例として議会の BCP(事業継続計画)を立てた大津市議会や、阪神淡路大震災時、毎朝定時に議員が集まり、それぞれ持ち寄った情報をもとに議長が災害対策本部に要望したり、災害対策本部の情報を議員



↑ 相馬市の防災倉庫にある大鍋

に伝えたという芦屋市議会の例も教えていただいたので、ぜひ吹田市議会も習って災害時の対応を考えたいと思いました。

平成 27 年(2015 年) 4月~9月の議員会計報告

収 入	議員報酬(*1)	3,780,483	いけぶち個人から	400,000	*1：前任期である5月までは、議員報酬を10%減額しています。 *2：「応援団へ」には事務所1F 家賃、水光熱費、事務費、通信費、人件費を含みます。 *3：議員共済がなくなったので、ほぼ同額を個人で掛けています。 *4：20万円/月+期末375,000円 * 広報費がかさんだため個人から40万円入金しています。
	議員報酬(期末)	1,462,500	前期より繰越	△426,649	
			収 入 計	5,216,334	
支 出	事務所 2F 家賃	300,000	応援団へ(*2)	410,000	
	事務雑費	13,957	税 金	906,758	
	交 通 費	178,573	共済・互助会(*3)	726,000	
	通 信 費	61,938	年金・国保	340,000	
	広 報 費	752,854	生活費(*4)	1,575,000	
	活 動 費	152,194	次期へ繰越	△200,940	
		支 出 計	5,216,334		



有志議員による吹田市議会報告会を5月と9月に開催しました。報告会の内容は、ブログやフェイスブックからご覧いただけます。

Blog <http://blog.goo.ne.jp/suita-gikai>

FB <https://www.facebook.com/suita.gikai.yushi>

